

県立川崎図書館の令和2年度活動報告 ダイジェスト

はじめに

2020（令和2）年、全世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による大きな影響を受けました。県立川崎図書館（以下当館とする）でもこれまでどおりの運営を続けることはできず、様々な対応を講じてきました。未だに収束が見えないこのコロナ禍ですが、ここまでの当館の取組みを振り返りたいと思います。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応という観点から、2019（令和元）年度の内容も一部含みます。記事の内容は全て2021年1月現在のものです。

2020年2月

2月19日

「新型コロナウイルス県内感染のまん延防止に係る県の取組方針」を踏まえ、当館が予定していた下記の催事の中止または延期が決定した。

- ・ 2月26日「ものづくりギャラリー展示関連イベント 職業技術校の工作教室 ～メイド・イン・ジャパンの技を体験しよう～」
- ・ 2月28日「社史編纂サポートセミナー（社史ができるまで講演会35回）『東京書籍110年のあゆみ』ができるまで」
- ・ 3月14日「図書館で学ぶ知的財産講座—弁理士と共に学ぶ初心者向け知財—」の第1回「商標権と意匠権ってどんな権利？—井村屋のアイスクリーム『やわもち』で分析します—」
- ・ 3月18日「ものづくりカフェ はかるって何？—計量の基準と計量検定所の仕事と生活—」
- ・ 3月21日「講演会・企業の足跡を知る 第4回 鈴廣の歴史と受け継がれてきた伝統技術」

2020年3月

3月4日

サービスの一部停止を開始した。

利用者の閲覧室への入室を停止し、図書館入口に仮設カウンターを設け、予約資料及び視聴覚資料の受取り・返却のサービスを提供した。図書館カードや図書の受渡しにはトレイを使用した。

電話やインターネットによる調査相談（レファレンス）、郵送貸出、郵送複写、郵送登録、他館との相互貸借、行政支援のサービスは通常通り行った。



仮設カウンター



図書館カードや資料の受渡し用トレイ

3月12日

仮設カウンターでの利用登録の受付を開始した。また、館内で行っていた展示を「Webで紹介 ミニ展示:環境に優しい『新素材』」としてHPで公開した。以後、様々なコンテンツをHPで公開していく。

3月16日～3月末

3月15日までとしていたサービスの一部停止を延長した。

2020年4月

4月1日

3月末までの予定としていたサービスの一部停止を、当分の間延長した。

4月7日

「Webで紹介 県立川崎のこんな本『数学の難問』と題し、閲覧室内で行っていた展示をHPで公開した。

4月8日

サービスの一部停止が8月31日まで継続となった。

4月12日～5月6日

新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を踏まえ、神奈川県実施方針が改訂されたことから、臨時休館した。仮設カウンターでのサービスも停止した。

この間、お問い合わせフォーム・FAX・文書でのレファレンス、郵送複写、郵送貸出、郵送登録等のサービスを提供した。

貸出中資料の返却期限・予約資料の取置き期限は一律で5月18日までとした。

特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ、
神奈川県立川崎図書館は臨時休館

させていただきます。みなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

期間：4月12日（日）～5月6日（水）

この期間中のサービス

日曜日・第2木曜日の休館日と同様、館内にお入りいただくことはできません。カウンターでの貸出・返却・登録、コピー機の利用、読書検索用端末、電子ジャーナル等端末、館内Wi-Fi、資料出納などご利用できません。

	○ ご利用になれるサービス	× 休止するサービス
貸出	予約図書資料の郵送貸出（実費負担）	視聴覚資料の貸出 予約資料の来館受取
登録	郵送登録（実費負担）	カウンターでの登録
複写	郵送複写（実費負担） お問い合わせフォーム、FAX、文書でお申込みください。	館内コピー機の利用
調査相談	お問い合わせフォーム、FAX、文書によるレファレンス	電話によるレファレンス
返却	返却期限は臨時休館明け5月18日（月）となります。 視聴覚資料を除き、返却ポストもご利用いただけます。	カウンターでの返却

※現在ご予約中の資料について
受取期限が臨時休館中にある予約の資料は、5月18日（月）まで取り寄せます。現在、県立川崎図書館・県立図書館・西口カウンター受取でご予約中の資料を自宅受取（実費負担）に変更する場合は、お問い合わせフォームメールでご連絡ください。

神奈川県立川崎図書館 問合せ先：044-299-7825（代表）

臨時休館の掲示

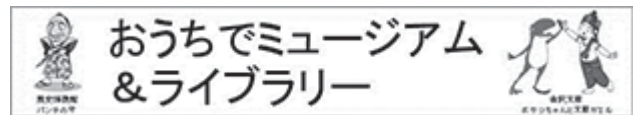
また、この臨時休館期間中に職員は一部テレワーク業務を行った。業務内容としては所蔵雑誌の利用状況調査、所蔵資料から選択した「おすすめ本」の紹介文の執筆、国立国会図書館が提供する遠隔研修の受講等を行った。

4月28日

HPで「Webで紹介 ものづくりギャラリー展示『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』と建築」、「ミニレクチャーで使用した電子ジャーナ

ル・データベース一覧」を公開した。

また、県立社会教育施設6館が、それぞれのWebコンテンツを集約した共同企画「おうちでミュージアム&ライブラリー」を、県教育委員会のHPで公開した。当館は「すごい社史」と「社楽」、「Web版 県立川崎図書館ものづくりギャラリー展示」を発信した。



「おうちでミュージアム&ライブラリー」のロゴ

2020年5月

5月7日

「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」を踏まえ、臨時休館を5月31日まで延長することとなった。

貸出中資料の返却期限・予約資料の取置き期限は一律で6月15日までとした。

5月27日

仮設カウンターでのサービスを再開した。予約図書及び視聴覚資料の受取り・返却、電話等による検索・調査相談、郵送貸出、郵送複写サービスを提供した。

2020年6月

6月9日

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアルに基づき、万全な拡大予防策を講じる観点から、一定の条件の下で再開した。

- ・ 館内ではマスクを着用していただく。
- ・ 入館人数を80人までと制限した。
- ・ 1日あたり概ね2時間以内の利用をお願いした。
- ・ 書庫内資料の利用申込みは18時までとした。
- ・ 館内随所に「感染症拡大防止のためのお願い」等の貼り紙を掲示した。

新型コロナウイルス感染症 拡大防止のためのお願い

以下に該当する方は入館をご遠慮いただいております。

- 発熱（37.5℃以上または平熱と比べて高い発熱がある）、悪寒（しびれ、呼吸困難）、強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方
- 新型コロナウイルス感染症罹患性とされた者との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

ご来館の皆様には、次のようにご協力をお願いいたします。

- マスクの常時着用
- アルコール消毒液のご利用
施設内には、アルコール消毒液を設置しておりますので、ご利用ください。
- 手洗いとうがいの実践
手洗いのため、こまめな手洗いを、うがいを行いましょう。
- 会話は控え、対人距離は最低1mを目安に保ってください。
- 入館者が80名を超えた場合、入館を制限させていただく場合があります。
- 一部エリアについては状況に応じて休止させていただきます。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

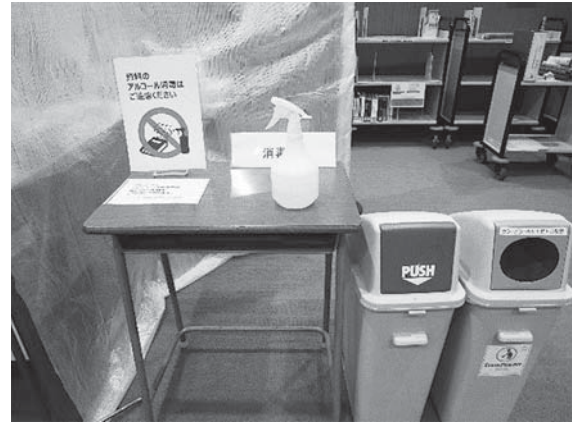
「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」

- ・ 座席の間隔をあけた。



総合カウンター前閲覧席

- ・ 館内随所に手指消毒用のアルコールを設置した。



手指消毒用アルコール



カンファレンスルーム

- ・ 座席で閲覧された資料は書架に戻さず、返却台に戻していただくこととした。



館内随所に用意した返却台

- ・ 入館者全員に非接触体温計による検温を行う。



非接触体温計による検温

- ・ カウンターにアクリル板を設置した。
- ・ 利用者同士が距離を保つ目安になるよう床にテープを貼った。



総合カウンター

2020年7月

7月22日

HPで「こんなところに科学者」を公開した。映画やアニメ等のフィクション作品の中に現れる科学者やその業績・発明品等を紹介している。

2020年9月

9月1日

館報「ものづくり文化」のバックナンバーをHPで公開した。

9月4日

「知財総合支援相談」を再開した。以後、「知的財産相談」（9月11日～）、「創業・経営相談」（9月12日～）も再開した。

9月10日

神奈川新聞で当館職員が執筆する連載「サイエンスを読む 県立川崎図書館から」を開始した。11月19日まで毎週木曜日に全11回掲載した。掲載記事と併せて関連資料の展示も行った。



新聞連載関連展示

9月11日

ものづくりギャラリー展示「分身ロボット OriHime ～距離や障害を乗り越えるテクノロジー～」を開始した。10月10日から17日まで「分身ロボット OriHime」の実機を展示し、10月12日から17日の間に4日間、実際に操作できるデモンストレーションを行った。

9月24日

「企業関係者と弁理士の知財研究会」の第1回を会場受講・Zoomによるオンライン受講の併用で開催した。

9月29日

当館の司書が講師をつとめ、電子ジャーナルの使い方について実習形式でレクチャーを行う「ミニレクチャー」を再開した。

2020年10月

10月3日

大人の理科教室「光を分解!! レインボーカラーをつくろう」を開催した。例年より参加者数を制限し、講師のフェイスシールド着用等の対策を講じた。

10月5日

「文字・活字文化の日記念展示」として、理化学研究所と編集工学研究所が提供する「科学道100冊」の展示を開始した。



「科学道100冊」の展示

10月13日

資料の除菌機を設置した。資料の表面についた雑菌を紫外線ランプで消毒することができる。



カウンター横に設置した除菌機

10月17日

3月に開催予定だった「図書館で学ぶ知的財産講座—弁理士と共に学ぶ初心者向け知財—」の第1回「商標権と意匠権ってどんな権利?—『コカ・コーラの瓶』

を例と一緒に考えていただきますー」を開催した。

2020年11月

11月17日

資料の調べ方講座「県立川崎図書館の使い方～データベースを中心に～」をZoomによるオンライン受講を中心に開催した。

11月21日

ワークショップ『科学の本を選んでみよう』～科学道100冊から広がる科学の本の選び方・楽しみ方～を開催した。



ワークショップ「科学の本を選んでみよう」

11月26日

「企業関係者と弁理士の知財研究会」の第2回を会場受講・Zoomによるオンライン受講の併用で開催した。

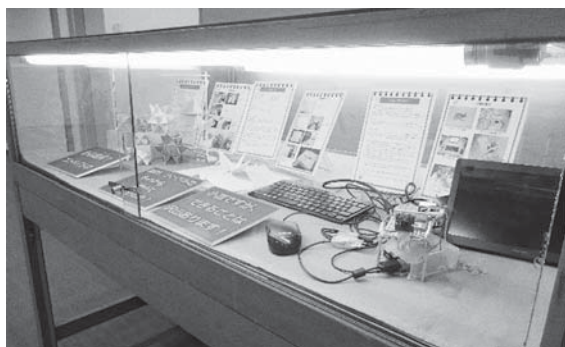
2020年12月

12月8日

KISTEC・KSP・川崎図書館で共催する令和2年度KISTEC知財セミナー第8回「意匠登録のための手続き実務 ～出願から登録まで～」を開催した。

12月11日

ものづくりギャラリー展示「県立川崎図書館の本で作ってみよう」を開始した。



展示の様子

12月19日

「図書館で学ぶ知的財産講座—弁理士と共に学ぶ初心者向け知財—」の第2回「弁理士と共に学ぶ&学び直す特許・実用新案」を開催した。

2021年1月

1月5日

入館者の体温を測定するためのサーマルカメラを設置した。



サーマルカメラ

1月12日

国の「緊急事態宣言」を受けた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」を踏まえ、平日の閉館時間を30分早め、午後7時までに変更した。また、「緊急事態宣言」発令中の講座・イベントについては、オンライン対応以外のものについては、原則として中止とすることとした。

1月13日

資料の調べ方講座「特許・商標の検索方法」をTeamsでオンライン開催した。

おわりに

全職員がこれまで経験したことのない、未知の敵と戦い続けた1年となりました。先が見えない状況のなか、利用者と職員の安全を守りながら図書館を運営することは非常に困難でしたが、職員一同、知恵を出し合い最善を尽くしてきました。

改めて、コロナ禍での図書館運営にご理解・ご協力いただいた皆様に感謝いたします。